

## 令和4年度 指定管理者モニタリングチェックシート

評価期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	指定管理者名	特定非営利活動法人 日向市障害者団体連絡協議会
施設名	日向市障害者センター	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
所管課	福祉課		

自己評価 (指定管理者が記載)	<p>施設の利用状況については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による臨時休館措置(令和2年度66日、令和3年度101日)の関係等から、団体活動の休止や活動自粛、研修会やイベント等減により利用件数・利用者数ともに減少傾向が続いていましたが、令和4年度は休館措置もなく、新規自主事業「あいとびあ生活セミナー」の開催などに伴い利用者が回復してきています。実績では、年間利用件数は(元年度980件→令和2年度726件(△254件)→令和3年度590件(△136件)→令和4年度936件(+346件)、年間利用者数も(元年度11,648人→令和2年度6,113人(△5,535人)→令和3年度5,676人(△437人)→令和4年度7,678人(+2,002人)増加に転じています。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、市民の予防意識や治療方法が確立されてきたことから回復してきたものと分析されます。引き続き、障がいのある人もない人も誰もが安心して利用できる施設として運営できるように努めてまいります。令和4年度は、就業規則の改正や見直しを行った結果、職場環境や職員の処遇改善が図られ安定した職員体制が確保できるようになってきています。さらなる職場環境の整備と利用実態に応じた見直し改善が課題です。</p> <p>その他、利用者へのサービス向上を図るために、新規事業として広報紙「あいとびあ通信」(年2回)の発行や「あいとびあ生活セミナー」の開催、12年ぶりの駐車場の整備などにも取り組みました。あいとびあ各種情報はホームページに掲載、施設内の掲示板を通じての情報発信、談話コーナーにはパソコン、プリンタを常設し、新聞や各障がい種別毎に機関紙、情報誌(音訳・点訳含む)も取り揃え、障がい者の理解向上にも努めています。</p> <p>今後、利用者アンケート等に出された意見や要望、利用者のニーズに応えながら、障がいのある方々はもとより市民の皆様が利用しやすい施設として、安定した職員体制を確保し、設置者である日向市との情報の共有、連携・協働を深めながら更なるサービス向上、堅実かつ効率的効果的な運営に努めてまいります。</p>
--------------------	--

評価項目	評価内容	評価		確認資料等	
		指定管理者	市		
① 利用状況・サービス向上	施設(サービス)の利用状況	利用者数が前年度実績や目標を上回っているか。施設の稼働率はどうか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	施設の平等利用	利用者の平等な利用が確保されているか。	A	B	日報、月報、利用者アンケート
	苦情・要望等への対応	苦情、要望等を施設の管理運営に反映できているか。また、苦情数は減少しているか。	B	B	利用者アンケート
	利用者満足度	利用者アンケートは適切に実施されているか。その結果を施設の管理運営に反映できているか。	A	A	利用者アンケート
	サービス向上への取り組み	サービス向上に向けた具体的な取り組みがあるか。(自主事業の周知、接客態度、予約方法の工夫等)	B	A	日報、月報、事業報告書
	自主事業の実施状況	施設の設置目的に沿った自主事業を実施できたか。また、それによって施設利用者は増加したか。	A	A	日報、月報、事業報告書
	①の総括		B	B	
② 管理能力	人員配置の状況	事業計画書の通り人員が配置されているか。必要な資格や経験を有する人員が確保されているか。	B	B	人員配置計画、出勤簿、実地
	人材育成の状況	事業計画書の通り従業員の指導育成及び研修が行われているか。	B	B	研修マニュアル
	コンプライアンスについて	関係法令や市条例、市規則、その他市が定める規程及び仕様書に基づき適切に業務を遂行しているか。	A	B	業務ガイドライン等、実地
	従業員の労働環境	労働法令の遵守や労働条件への配慮がなされているか。	B	B	実地、出勤簿
	外部委託等の状況	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていないか。	A	B	実地
	防犯、防災に対する態勢	避難経路の確保や事故防止策など、緊急事態への対策ができているか。	B	B	実地
	緊急事態に対する態勢	安全・衛生管理や危機管理に対するマニュアル等の整備や従業員の訓練する等、適切に行われているか。	B	B	危機管理マニュアル等、実地
	個人情報の保護	個人情報保護の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	個人情報保護マニュアル等、実地
	情報公開の規程状況	情報公開の規程を整備する等、研修や運用等の適切な対応がなされているか。	B	B	情報公開マニュアル等、実地
	文書管理について	作成受領した文書は適切に保管及び管理されているか。	B	B	実地、保存文書
	環境への配慮	環境に配慮した物品の購入、省エネの取組、リサイクルの推進等の対応を適切に行っているか。	B	B	日報、月報、実地
②の総括		B	B		

評価項目	評価内容	評価		確認資料等	
		指定管理者	市		
③維持管理・経理状況	施設、設備等の管理状況	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っているか。	A	A	日報、月報、点検報告書、実地
	清掃、警備業務の実施状況	仕様書等に基づき、清掃業務、警備業務を適切に行っているか。	A	A	日報、月報、実地
	備品等の管理状況	備品台帳に基づき、備品等を適切に管理・保管しているか。	B	B	備品台帳、実地
	指定管理業務の収支状況	収支状況が当初の目標を達成しているか。(利用料金、委託料等の実績)	B	B	日報、月報、事業報告書
	自主事業の収支状況	自主事業の収支状況が当初の目標を達成しているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	A	B	日報、月報、事業報告書
	経費削減の取り組み	経費削減の取り組みが行われ、成果があらわれているか。	B	B	日報、月報、事業報告書
	③の総括		B	B	
総合評価	①、②、③の総括による総合評価	B	B		

※総合評価の理由	<p>協定書と仕様書に準じた運営がなされ、館内及び館外とも整然かつ清潔に管理されており、全体的に良好な状態であることが認められました。昨年度もコロナ禍での運営となりましたが、感染防止対策を徹底したうえで自主事業を実施するとともに、利用者へのサービス向上を図るため、新規事業として広報紙「あいとびあ通信」(年2回)の発行や「あいとびあ生活セミナー」を開催するなど、新たな取組もなされていました。</p> <p>また、あいとびあの各種事業について、ホームページや施設内掲示板を通じて情報発信するなど、同センターの周知にも取り組まれていました。</p>
※特記事項 (成果・課題等)	<p>指定管理業務の適正な運営に努めていますが、人材育成に向けた対策や取組も必要です。職員自身が知識を習得し業務に活かすことは、事業の充実と施設の利用向上にも繋がります。自主事業については、関係機関と連携しながら実施していますが、今後さらに、障がいへの理解が促進される事業の展開や、新たな試みの研究に期待します。</p> <p>また、障がいのある方々はもとより、市民が気軽に利用できる施設となるよう、引き続き、魅力の向上と周知を図り、事業の充実にも努めていただきたい。</p>

※総合評価の理由及び特記事項(成果・課題等)は市所管課が記載します。

評価区分	評価基準	<p>A(優良) = 協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理が行われた</p> <p>B(良好) = 協定書等を遵守し、その水準におおむね沿った管理が行われた</p> <p>C(課題含) = 協定等をおおむね遵守しているが、一部に課題が残る内容であった</p> <p>D(要改善) = 協定書等を遵守しておらず、改善が必要な内容であった</p>
	総括	<p>A(優良) = 評価基準が全てB以上であり、かつAが過半数以上である</p> <p>B(良好) = 評価基準が全てC以上であり、かつB以上が8割以上である</p> <p>C(課題含) = 評価基準が全てC以上である</p> <p>D(要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>
	総合評価	<p>A(優良) = 総括が全てB以上であり、かつAが2つ以上ある</p> <p>B(良好) = 総括が全てB以上である</p> <p>C(課題含) = 総括が全てC以上である</p> <p>D(要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>